

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社 マサル

上場取引所 大

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荻谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 大木 信雄

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,156	—	△394	—	△360	—	△238	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △244百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△53.54	—
23年3月期第3四半期	—	—

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,401	2,540	27.0
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,540百万円 23年3月期 一百万円

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	—	35	—	80	—	50	—	11.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の対前期増減率については記載していません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社塩谷商会、除外 1社 (社名)

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	4,505,757 株	23年3月期	4,505,757 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	8,788 株	23年3月期	108,589 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	4,463,724 株	23年3月期3Q	4,397,499 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

当四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、当四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、経営成績及び財政状態の前年同四半期比較の記載は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の先行き不透明感は薄らいだものの、夏場の電力供給の制約、円高の進行による企業業績の悪化懸念、タイでの洪水による工場の操業停止等から厳しい状況が続きました。さらに欧州の政府債務危機、新興国での景気減速懸念が浮上してきたことなどにより、不透明感が高まりました。

建設業界におきましては、戸建て住宅・マンション市場の回復傾向が続き、さらに東日本大震災の復興に伴う建設投資の増加がみられるものの、首都圏の労務・技術者不足やコスト上昇、民間設備投資低迷による受注競争の激化など、経営環境は極めて厳しい状況が続いています。

このような状況の中、当社は「QCDS Eを強化し受注競争を勝ち抜く！」との年度方針のもと、採算重視を優先課題と位置付け選別受注による収益確保、工事原価管理の徹底、事業部間の人員配置見直しによる業務効率化などの諸施策に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は64億23百万円、売上高につきましては21億56百万円となりました。利益面につきましては、ほぼ当初の予想通りであります。営業損失は3億94百万円、経常損失は3億60百万円、四半期純損失は2億38百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設工事業)

売上高は18億68百万円となり、セグメント損失は4億円となりました。受注高につきましては、60億89百万円となりました。

(設備工事業)

売上高は2億87百万円となり、セグメント利益は5百万円となりました。受注高につきましては、3億34百万円となりました。

なお、当社グループでは第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、通期の売上高に比べ、第3四半期連結累計期間の売上高は著しく低くなっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は81億94百万円となりました。主な内訳は、受取手形・完成工事未収入金19億53百万円、未成工事支出金49億26百万円であります。固定資産は12億7百万円となりました。

この結果、総資産は94億1百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は62億95百万円となりました。主な内訳は、支払手形・工事未払金12億98百万円、未成工事受入金35億40百万円であります。固定負債は5億66百万円となりました。

この結果、負債合計は68億61百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は25億40百万円となり、自己資本比率は27.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました『連結決算への変更に伴う平成24年3月期連結業績予想について』の通りであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
第2四半期連結会計期間より、株式会社塩谷商会の全株式を取得し完全子会社化いたしました。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	933,138
受取手形・完成工事未収入金	1,953,586
未成工事支出金	4,926,225
材料貯蔵品	5,528
その他	376,569
貸倒引当金	△943
流動資産合計	8,194,104
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	189,366
土地	551,163
その他(純額)	13,313
有形固定資産合計	753,844
無形固定資産	
ソフトウェア	8,104
その他	24,993
無形固定資産合計	33,098
投資その他の資産	
投資有価証券	150,248
その他	342,951
貸倒引当金	△72,350
投資その他の資産合計	420,849
固定資産合計	1,207,791
資産合計	9,401,896
負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金	1,298,033
短期借入金	809,000
1年内返済予定の長期借入金	319,208
1年内償還予定の社債	100,000
未払法人税等	2,438
未成工事受入金	3,540,732
賞与引当金	20,893
工事損失引当金	103,471
完成工事補償引当金	9,831
その他	91,505
流動負債合計	6,295,113
固定負債	
社債	170,000
長期借入金	325,209
負ののれん	2,246
その他	68,597
固定負債合計	566,052
負債合計	6,861,166

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	885,697
資本剰余金	1,261,600
利益剰余金	407,406
自己株式	△3,163
株主資本合計	2,551,540
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△10,810
その他の包括利益累計額合計	△10,810
純資産合計	2,540,729
負債純資産合計	9,401,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
完成工事高	2,156,101
完成工事原価	1,978,210
完成工事総利益	177,890
販売費及び一般管理費	572,389
営業損失(△)	△394,498
営業外収益	
受取利息	219
受取配当金	1,852
材料報奨金	14,136
負ののれん償却額	748
貸倒引当金戻入額	18,700
その他	15,866
営業外収益合計	51,524
営業外費用	
支払利息	14,206
その他	3,201
営業外費用合計	17,408
経常損失(△)	△360,382
特別利益	
固定資産売却益	140
負ののれん発生益	39,447
特別利益合計	39,588
特別損失	
投資有価証券評価損	3,350
特別損失合計	3,350
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,144
法人税、住民税及び事業税	3,135
法人税等調整額	△88,309
法人税等合計	△85,174
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△238,970
四半期純損失(△)	△238,970

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△238,970
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△5,692
その他の包括利益合計	△5,692
四半期包括利益	△244,662
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△244,662

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年7月20日付にて、第三者割当による自己株式の処分を行いました。これにより、第2四半期連結会計期間において自己株式が35,600千円減少しております。